

検診は自分を守る確実な方法



女性の11人に1人が経験するといわれる乳がん。歌手のアグネス・チャンさんは10年前、右胸に乳がんを患った。治療や辛い副作用を乗り越えた今、伝えたいことがある。「自分の命は、自分だけのものじゃない。自分を守る確実な方法は、早期発見だけ」。乳がん検診受診の大切さを語った。

—治療は何を行つたのですか。

放射線治療とホルモン療法です。がん細胞の取り残しの可能性もあつたので、放射線治療を勧められ、2カ月間ほぼ毎日、計約40回受けました。

一方、ホルモン療法は副作用が強く、珍しいほど重かつた——。飲み始めて1週間も経たないうちに副作用がどつと来て、いわゆる更年期障害のようなのぼせや汗、頭痛、不眠、イライラなどに加えて、関節痛もありました。朝、起きられないとほど痛かった。湿疹も出て、厄介でした。でも一番辛かったのは、顔が腫れる「ムーンフェイス」。もう本当に目や鼻がないほど腫れてしまつて、仕事を辞めようか、すごく悩みました。

結果としては治療を受け

なぜですか。 2007年、52歳の時でした。「かゆいな」と思つて触つた日、「しこりかも」と思い、検査に行つたんです。 実はその約10日前、「リレー・フォー・ライフ」というがん征圧運動に参加しました。患者やその家族、関係者らが24時間たすきをつないで歩くイベントです。いつもは元気だから、放つておいたと思うんですけど、その活動に参加したおかげで「もしかして自分も?」と思つて、総合病院で調べたら、悪性でした。

—それまでは検査したことにはなかつたんですね。 自由業なので、会社は違つて、せかして人がいるわけでもなく受けなければならぬもない。専業主婦とうに、自分の意志でかない。そうすると「自分は関係ない」、信過剰だつたでしょ

自分で癌だと悟ったときの心の状態を、この言葉で表現するには、まさに「かせてください」という言葉が最も適切だ。

自分 意志で癌

自分が出した結論は、も
しリンパにも転移していな
ら、全摘出をする。リンパ
をすべて取り除くと、当然
傷は大きくなるので、全摘
出でもいいかなと。でもリ
ンパに転移していなかつた
ら、残してください、と頼
うね。
「後回し」とか。自
分の胸が残るのかどうか、
わかりませんでした。結果
的にリンパに転移していな
かつたので、温存手術で済
みました。ちなみに、手術
を受けたのは10月1日「ピ
ーク」がん細胞検査の結果
を受けてから約1ヶ月後です。
ついで聞
うね。

自分の命は誰かの生きる希望



アグネス・チャンさん

1955年、イギリス領香港に生まれる。72年、「ひなげしの花」で日本デビューし、一躍アグネスブームを起こす。上智大学国際学部を経て、カナダトロント大学を卒業。84年、国際青年記念平和論文で特別賞を受賞。芸能活動のみならず、ボランティア活動、文化活動にも積極的に参加する。現在、歌手活動だけでなく、エッセイスト、ユニセフ・アジア親善大使として、芸能活動以外でも幅広く活躍中。2008年、日本対がん協会初代「ほほえみ大使」に就任。

アグネス・チャンさんがゲストとして登場する「ピンクリボン ライトアップ点灯式」(ピンクリボン運動推進埼玉県委員会主催)が28日、さいたま市大宮区の大宮ソニックスシティ鐘塚公園で行われる。

早期発見で長生きも



は、自分の命は自分だけのものじやないということ悲しむ人もいるし、実は頼っている人もいる。周りの人たちを幸せにするためにも自分の命を大事にしなければならない。ぜひ、お互に励まし合つて検診に行つてくださいね。

家族と仕事が心の支え

――家族の支えはどうでしたか。

それがなかつたら、たぶん乗り越えられなかつたと思います。ムーンフェイスになつたとき、すごく落ち込んだんです。一度腫れたら1週間ぐらい引かないので、仕事でいつ、皆に迷惑を掛けるかわからぬ。今気付いたら、その時の写真是一枚もないんですよ。あんまりにも見たくないでの。家族も目を合わせてくれなかつたです、恐怖で。

でもある日、突然、寝る前に三男が私のベッドサイ

仕事も支えでした。元気になろう、食事しよう、運動しよう、人の前に出るから落ち込んでいる場合じゃない――そんなふうに励みになりました。まだ働けたり、社会貢献も出来ているなと思うと、強い自分が出てくるんですね。

がんはもう、絶体絶命の病じやなく、長く生きているサバイバー（がん経験者もいるんですから、社会を）をするといつた支援も必要だと思っています。自分もそうですが、特に早期の人は体調の悪い日もあるは

検査受け次世代に貢献
—日本対がん協会のほほみ大使でもあるアグネスさんから、メッセージをいただけますか。

がんは人を選ばない。女性も男性も、子どもも老人も、高学歴や金持ちの人も、そうでない人も。しかも現段階では「これさえやらなければがんにならない」という絶対の証拠はないらしいです。絶対に治る治療法も

A night photograph of the Yokohama Landmark Tower, showing its illuminated observation deck and the surrounding city lights.

**私たちは、ピンクリボン運動を
応援しています**



 上尾中央医科グループ 上尾メディックス

 Toda Medical Group
戸田中央医科グループ



TMGの乳がん検診実施施設 (埼玉県)



The image is a collage of three photographs. The top-left photo shows a female masseuse in a purple uniform performing a back massage on a patient lying on a white massage table. The bottom-left photo shows a soccer field with a large, friendly-looking dog mascot standing next to a referee and other players. The rightmost photo shows a person in a white medical or laboratory coat standing in a hallway.

The image shows a modern, multi-story hospital building with a glass facade and a prominent white tower featuring the letters "TMG". The building is set against a clear blue sky.

A photograph of a multi-story, white, curved hospital building with a prominent circular design. The building is set against a clear blue sky. In the foreground, there are some trees and utility poles.

A photograph of a modern, multi-story hospital building with a white facade and glass windows. The building is set against a clear blue sky. To the right of the image, there is a green vertical banner with the text "TMG 宗岡中央病院".